評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 能谷市スポーツ協会補助事業 短縮番号 00652

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	001 スポーツによる	まちづくりを推進す	`る		
施策	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	る		
施策達成課題	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	る		
基本事務事業	002 熊谷市スポーツ	協会補助事業			
詳細事務事業	001 熊谷市スポーツ	協会補助事業			
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
	スポーツ協会の会計は適切 与している。	に処理されており、	市民へのスポーツの普及は	もとより、加盟競技	団体の振興にも寄
課題・分析					

【事業分析】 対象 公益財団法人熊谷市スポーツ協会 目的 本市のスポーツを振興する。 手段 公益財団法人熊谷市スポーツ協会に対し、補助金を交付する。 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 5 628 5 633 5 000 5 000 事業費 5,000 5, 000 5,000 5, 000 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 5,000 5,000 5,000 5,000 人件費計 628 633 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.08 0.08 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.01 0.01 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算事業 予算所属名称 01-02-01-18-06-01-00-00 熊谷市スポーツ協会補助事業 総合政策部スポーツタウン推進課 事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 能谷市スポーツ協会補助事業

所属 短縮番号 00652 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 28.00 28.00 28.00 0.00 0.00 0.00 0.00 28 00 28 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スポーツ協会の加盟者 128, 000, 00 128, 000, 00 0.00 0.00 0.00 128,000,00 0.00 10, 964. 00 10.690.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 予算の方向性 現状維持 事業の方向性 本市のスポーツ振興のため、継続して実施する必要がある。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属

短縮番号 01085 スポーツ推進事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	001 スポーツによる	まちづくりを推進す	- る		
施策	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	⁻ る		
施策達成課題	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	్ వ		
基本事務事業	003 スポーツ推進事	業			
詳細事務事業	001 スポーツ推進事	業			
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	スポーツ基本法、熊谷市ス	ポーツ推進委員に関]する規則、スポーツ推進計i	曲	
課題・分析	事業内容を精査し、経費削	減に努めた。			
【事業分析】					

対象 市民 大会の開催やスポーツ団体への支援を通して、スポーツの推進及び市民へのスポーツの普及を図る。 目的 手段 スポーツ推進審議会の運営、スポーツ推進委員の活動支援、市総合スポーツ大会、スポーツ教室の開催委託、ス ポーツレクリエーション団体及び大会への補助、全国大会等に係る補助。各種スポーツ大会の実施、野外活動事 業、体力測定等の実施、スポーツレクリエーション指導者バンクの活用。 その他

【コスト】 (単位:千円)
 令和 4年度
 令和 5年度
 令和 6年度
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度
 令和10年度 決算額 決算額 計画額 計画額 計画額 計画額 32, 922 トータルコスト 31, 580 10,061 9, 735 事業費 8, 601 8, 504 10, 061 9, 735 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 0 地方债 その他 一般財源 8, 601 8, 504 10, 061 9, 735 人件費計 22, 979 24, 418 一般職員(人) 3.00 3. 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.10 0.65 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-02-01-18-03-01-00-00 スポーツ推進事業 総合政策部スポーツタウン推進課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

LA	定量評価】 指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	→ 上段:日標個 令和 9年度	下段:実績 令和10年度
7	ポーツ教室種目数	中区	18.00	18.00	18.00	18.00	0.00	0.00	0.0
		種目	18.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
۲,	ポーツ教室参加者数	٨	2, 100. 00 2, 169, 00	2, 100.00 2, 082.00	2, 100.00 0.00	2, 100.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.0
Į I	求親善大会の実施回	0	1.00	1.00	1.00	1.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.0
E	求親善大会参加者数	,	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.0
rs	定性評価】		104. 00	112.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
<u> </u>	カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
1	事中評価		業の優先度	4 今 3 ど 2 目	の事務事業に優先 後しばらくの間、 ちらかといえば、 的をある程度達成 業開始時と比較し	継続して実施する 実施したほうが。 しており、実施の	る必要がある とい D有無について検		4
	理由								
2	事中評価	事	業の必要性	4 安 3 安 2 豊	民又は団体の生命 全・安心・健康な 全・安心・健康な かな市民生活の形 民生活の余暇・レ	市民生活の実現し 市民生活の水準総 成に寄与するサー	こ不可欠なサ ー ビ 推持に役立つサ ー -ビスである	スである ビスである	4
	理由			1	20-211-0977-18	,,_ , , , , , ,	120 17 17 70 70 1 1 1 1	3,0	
3	事中評価	事	業主体の妥当性	4 他 3 他 2 本	に同種・類似サー に同種・類似サー の公共団体では民 市で民間団体等が 市で民間団体等が	・ビスを提供してし 間団体が同種・ * *同種サービスを!	いるのは、他の公 頁似サービスを提 是供しているが、	共団体のみ 供している 質量共に劣る	4
	理由				11 C 2012) E 11 1 1 1 1	1.712.7			
4	事中評価	事	業の対象者	4 直 3 直 2 直	接の対象は、すべ 接の対象は、特定 接の対象は、特定 接の対象は、特定 接の対象は、自ら	属性の広く一般の 属性の特定多数の 属性の一部の市	ウ不特定多数の市 ウ市民又は団体で 民又は団体である	ある	5
_	事中評価	市	民ニーズの把握	5 事	業規模や方法は、	対象者等の大幅は	t ナの = ー ズに ト	U目直してる	
5	理由			4 事 3 事 2 事	業規模や方法は、業規模や方法は、業規模や方法は、業規模や方法は、業規模や方法は、業規模や方法は、	対象者等の拡大化 対象者等の具体的 事業担当部門の犯	頁向のニーズによ 勺なニーズにより 虫自の考えで適宜	り見直してる 見直している 見直している	4
	1 次評価結果】								
	業の方向性	現	状維持		予算の方向	句性			
1 }	次コメント 4 0 0 文字)	令	熊谷市誕生20周4 和6年との比較では その他事業について	②市総合 、スポーツ推進	スポーツ大会 冠委員被服費補助事	選事業として 業の全員補助対象	年度ではないた。	め、減額となって	เงล
[2	2 次評価結果】								
	業の方向性	現	状維持		予算の方向	句性			
	次コメント 4 0 0 文字)								

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 短縮番号 01384 口腔外傷防止用具 (マウスガード) 補助事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	001 スポーツによる	まちづくりを推進す	- る		
施策	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	⁻ る		
施策達成課題	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	్ వ		
基本事務事業	004 口腔外傷防止用	具(マウスガード)	補助事業		
詳細事務事業	001 口腔外傷防止用	具(マウスガード)	補助事業		
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等	熊谷市市民の歯と口の健康	づくりを推進する条	例、熊谷市口腔外傷防止用。	具補助事業実施要綱	
課題・分析	制度の普及のためのPRを	行う。			
【事業分析】					

対象 口腔外傷防止用具(マウスガード)を作製した市内在住・在学する学生。 目的 歯と口の健康づくりを通して、地域住民のスポーツによる健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、健康で質の高 い生活の維持向上を図る。 手段 口腔外傷防止用具(マウスガード)の作製に対し補助を行う。 その他

【コスト】							(単位:千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	965	1, 429	1,000	1, 000	0	0	0
事業費	565	595	1,000	1, 000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	565	595	1,000	1, 000	0	0	0
人件費計	400	834	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.01	0. 20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0
【関連予算情報】	【関連予算情報】						

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-29-01-00-00	口腔外傷防止用具(マウスガード)補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 5565円 01394 日際は億時に10月 (フロスギード) 排出事業

	棚番号 01364 2量評価】	山腔列	ト陽防止用具(マリス)	カート) 補助争す	R.			上段:目標値	下段:実績値
Г	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
マ' 者	ウスガード補助対象	٨	300. 00 130. 00	300.00 139.00	300.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
	2性評価】								
Ľ	カテゴリ		評価の観点			基準		İ	ランク
	事中評価		事業の優先度		の事務事業に優先 後しばらくの間、				
1				3 &	ちらかといえば、	実施したほうが	よい		4
ľ					的をある程度達成 業開始時と比較し				
L	理由								
	事中評価		事業の必要性		民又は団体の生命全・安心・健康な				_
١.					全・安心・健康な				/1
2				2 豊	かな市民生活の形	成に寄与するサ	ービスである		4
				1 市	民生活の余暇・レ	クリエーション :	活動等の充実に寄	与する	
H	理由 事中評価		事業主体の妥当性	= a -	(- E # ##/N II	11-4-11-11-1		-00 4-1	
	争中計画		予未工体の女当住		<u>に同種・類似サー</u> に同種・類似サー				_
3					の公共団体では民				Λ
١					市で民間団体等か				—
				1 本	市で民間団体等か	「同種サービスを	提供しており、質	[量共に勝る	
H	理由 事中評価		事業の対象者	5 直	# ^	・エの土足りは円	H +- 7		
			サネの 外外 日		<u>接の対象は、すべ</u> 接の対象は、特定			民又は団体	_
4				3 直	接の対象は、特定	属性の特定多数	の市民又は団体で	ある	5
7					接の対象は、特定				O
	TID ±			1 直	接の対象は、自ら	希望する一部の	市民又は団体であ	58 <u> </u>	
H	理由 事中評価		市民ニーズの把握	5 🛎	業規模や方法は、	対象者等の大幅	は大のニーズに ト	・以目直してる	
	7- 1 01 100				業規模や方法は、				4
5				3 事	業規模や方法は、	対象者等の具体	的なニーズにより	見直している	4
ľ					業規模や方法は、				
	理由			1 事	業規模や方法は、	過去を踏襲して	おり、特に見直し	ていない	
┰	<u>) </u>								
$\overline{}$	業の方向性		現状維持		予算の方向	向性			
1	欠コメント								
	400文字)								
Ļ	2次評価結果】								
	<u> </u>		現状維持		予算の方[
	次コメント								
l (400文字)								
_									

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	001 スポーツによる	まちづくりを推進す	`る		
施策	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	· る		
施策達成課題	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	~る		
基本事務事業	006 熊谷さくらマラ	ソン大会事業			
詳細事務事業	001 熊谷さくらマラ	ソン大会事業			
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	後、5大会ぶりの通常開催	となり、予全国各地	らマラソン大会を開催した。 から5. 169名の参加(さ、どのような仕掛けでコロ	申込)があった。	

【事業分析】	
対象	市民及び全国各地からの市民ランナー
目的	市民及び全国各地からの市民ランナーの参加するマラソン大会を実施し、本市をPRするとともに、健康の増進 、体力の向上を図る。
手段	市スポーツ協会をはじめ関係機関・団体等の協力による実行委員会を組織して補助金を交付し、多くの市民ランナーが参加できるよう実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コス	h]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	13, 663	16, 825	5, 000	7, 000	0	0	C
事	業費	5, 000	5, 000	5, 000	7, 000	0	0	C
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	C
	県支出金	0	0	0	0	0	0	C
	地方債	0	0	0	0	0	0	C
	その他	0	0	0	0	0	0	C
	一般財源	5, 000	5, 000	5, 000	7, 000	0	0	C
ᄌ	件費計	8, 663	11, 825	0	0	0	0	C
	一般職員(人)	1.00	1. 25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員(人)	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
- その他	奴弗	0	0	0	0	0	0	0
	作 <u>與</u> 予算情報】	<u> </u>		·	0	<u> </u>	<u> </u>	

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-07-01-00-00	熊谷さくらマラソン大会事業	総合政策部スポーツタウン推進課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 実施回数 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 0.00 0.00 1.00 1.00 0.00 0.00 0.00 参加申込数 7, 000, 00 7, 000. 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5, 169.00 4, 493, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 が無の知ち 44 244 = \. /2

	73 7 - 3 7	一一川マノ東元示	签字	,,,,
	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
1			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	っ
l '			2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
ì	理由			
	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
2			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	.3
1			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	O
ı			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由			
	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	Л
3			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
١			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由			
	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
4			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	5
7			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由			
	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
5			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	Ξ≺
١			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	J
1			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
i	理由			

【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 【熊谷市誕生20周年記念】 新型コロナウイルス感染症が第5類指定移行後、平成30年度(29th)大会以来の通常開催で第34回大会 を開催することができた。今大会では、徐々に回復しつつある参加者数ではあるが、コロナ以前の水準に満たな 1次コメント い状況の中、各種事項について見積もり合わせや業者変更により、前回1,904円だった繰り越し金を1,008,979円 (400文字) まで増やすことができた。 一方第35回大会では、各種経費の高騰している背景の中で、機構変更に伴う特別協賛団体の協力が不透明であ り、現行の運営態勢の維持が困難である。以上のことから、令和7年度は増額としている。

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (4 0 0 文字)			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属

IP27P040

短縮番号 00009 高校女子サッカー大会(めぬまカップ) 事業

【基本情報】							
計画次数	04 第二次総合	長興計画/後期基本計	- 画				
政策	001 スポーツ・1	見光を通じて魅力を発	信するまち				
政策達成課題	001 スポーツに。	よるまちづくりを推進	する				
施策	001 生涯にわた	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する					
施策達成課題	001 生涯にわた	るスポーツ活動を推進	する				
基本事務事業	007 高校女子サ	ッカー大会 (めぬまカ	ップ) 事業				
詳細事務事業	001 高校女子サ	ッカー大会 (めぬまカ	ップ) 事業				
事業期間	~						
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務				
根拠法令等							
課題・分析				1,000人を維持している。E のPRを行い、スポーツに			
【事業分析】							
1 サネカが1	1.4 (2.1 2. 1.2 2.2 1.4						

対象 大会参加チーム及び市民 目的 全国から高校女子サッカーの優秀なチームを本市に招待し、大会を通じて女子サッカーの技術やレベルの向上を 図るとともに、大会を盛り上げる企画などで全国に本市のPRを行い、スポーツによる地域の活性化を図る。 選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷を開催するため、実行委員会に対し補助金を交付し、実行委 手段 員会が企画・運営を行う。 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 計画額 計画額 計画額 決算額 12, 781 トータルコスト 4 000 4 000 12, 125 事業費 4, 000 4, 000 4,000 4, 000 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 4,000 4, 000 4,000 4, 000 人件費計 8, 125 8, 781 一般職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1.00 1.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.25 0.50 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-02-01-18-08-01-00-00 高校女子サッカー大会(めぬまカップ)事業 総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 00009 高校女子サッカー大会(めぬまカップ)事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 参加校 48.00 48.00 48.00 0.00 0.00 0.00 47 00 43 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 参加者数 1, 500, 00 1.500.00 1,500.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1, 413, 00 1, 235.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい

			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	•
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
2			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	·/
_			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	_
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	1
3			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	4
٠			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	\circ
4			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	Ξ⊀
7			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	O
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	\circ
5			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的な二―ズにより見直している	Ξ⊀
~			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	\mathbf{O}
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【1次評価結果】 予算の方向性 現状維持 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

 評価年度
 令和 5年度
 進捗区分
 2次評価

 所属
 1070000
 総合政策部スポーツタウン推進課

 短縮番号
 01782
 「総合戦略」スクマム!クマガヤ推進事業

【基本情報】 計画次数 04 第二次総合振興計画/後期基本計画 政策 001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち 政策達成課題 001 スポーツによるまちづくりを推進する 001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する 施策 施策達成課題 001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する 010 「総合戦略」スクマム!クマガヤ推進事業 基本事務事業 詳細事務事業 「総合戦略」スクマム!クマガヤ推進事業 事業期間 新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 ソフト事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 【課題】 庁内および市内外における「スクマム!クマガヤ」の認知度 【分析】 RWC2019を機にラグビータウン熊谷の新たなスローガンとして誕生したスクマムだが、 課題 分析 「ラグビータウン推進課」から「スポーツタウン推進課」へと変化する中で新たなブランディング・庁内外への 認知度の向上が必要であると考える。

 【事業分析】
 市民

 目的
 官民一体となってラグビータウン熊谷を推進していくとともに、ラグビータウンとして市民が自主的に展開するまちを目指す。

 手段
 ①スクマム!クマガヤを使用した民間活動の拡大 ②ホームページでのスクマム!クマガヤに関連した情報の発信 ③市内ラグビーチームの支援 ④熊谷ラグビー場での試合時におけるイベントの実施と支援

 その他
 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 予算額 計画額 計画額 決算額 計画額 計画額 22, 689 トータルコスト 7 734 8 787 18, 135 事業費 4, 401 7, 789 7, 734 8, 787 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 4, 400 7, 788 7, 734 8, 787 人件費計 13, 734 14, 900 一般職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1.81 1.80 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.50 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

 【関連予算情報】
 予算事業
 予算所属名称

 01-02-01-18-33-01-00-00
 「総合戦略」スクマム!クマガヤ推進事業
 総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート2

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 スクマム利用申請・届 100.00 100.00 100.00 120.00 0.00 0.00 115.00 106.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スクマムLINEスタ 利用者数 500 00 650 00 400 00 0.00 0.00 0.00 0.00 469 00 242.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

定性評価】 カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	4
理由		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の条銀・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不間)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に勝る	4
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	2
理由			
1 次評価結果】			
** ヘナウサ	TE 45 4# 4±	ヌ 笠 の 十 白 州	

 事業の方向性
 現状維持

 1次コメント (400文字)

 [2次評価結果]

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (400 文字)			
(400文字)			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課

短縮番号 01862 ワイルドナイツ連携事業 【基本情報】

【							
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	i				
政策	001 スポーツ・観光	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち					
政策達成課題	001 スポーツによる	001 スポーツによるまちづくりを推進する					
施策	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	する				
施策達成課題	001 生涯にわたるス	ポーツ活動を推進す	する				
基本事務事業	011 ワイルドナイツ	連携事業					
詳細事務事業	001 ワイルドナイツ	連携事業					
事業期間	~						
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等							
令和3年8月、埼玉パナソニックワイルドナイツが熊谷へ本拠地を移転した。将来、少なくとも35年は熊谷を拠点 として活動をしていくこととなる。チームとの関係性を構築し、チームと連携しながらラグビータウン熊谷の持 続可能性の確保を図る必要がある。ラグビーが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを推進するため 、チームや埼玉県ラグビー協会と連携し、各種事業を展開する。 平成31年3月27日 埼玉県、熊谷市及びパナソニック株式会社とのラグビーフットボールを通じた地域振興等に 関する協定を締結。令和2年7月14日 埼玉県ラグビー協会によるクラブハウス等建設計画の発表。同時に完成後 の本拠地移転についてチームから表明。令和3年8月 本市に本拠地を移転。							
【事業分析】	•						

対象 目的 チームの存在がより幅広く市民に浸透していくことで、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となるこ とを期待する。チームを通じラグビータウン熊谷を全国へ発信するとともに、市民のラグビーに対する関心の向 上、熊谷市への愛着形成及びファン層の拡大を図る。 手段 チームのホームタウン活動の共有や情報交換、各種調査などを行い、同活動を支援する。 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 25, 420 トータルコスト 83, 557 11, 236 11, 329 事業費 76, 804 15, 293 11, 236 11, 329 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 0 地方债 その他 一般財源 76, 804 15, 293 11, 236 11, 329 人件費計 6, 753 10, 127 一般職員(人) 0.89 1. 25 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.25 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-02-01-18-35-01-00-00 ワイルドナイツ連携事業 総合政策部ラグビータウン推進課 事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属

【定量評価】	244 /±	△和 4左左	会和「左座	△和 c左曲	△ £n 7/± 	△和 0左曲		● 下段:実績付金額
指標名 援バスツアー参加を	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1版バベッチー参加1	人/回	50. 00 60. 00	50.00 160.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50. 0 0. 0
【定性評価】								
カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
事中評価	事	業の優先度		<u>:の事務事業に優先</u> :後しばらくの間、				_
4				ちらかといえば、				/1
1				的をある程度達成			討の余地あり	7
			1 事	業開始時と比較し	実施意義が大き	く低下、又は、目	的が達成した	
理由 事中評価	a	業の必要性	5 市	民又は団体の生命	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	宮暗に不可々かせ	ービフでもる	
	1	******		全安心・健康な				_
2				全・安心・健康な				7
4			2 #	かな市民生活の形	成に寄与するサ	ービスである		
TTD -L			1 市	民生活の余暇・レ	・クリエーション	舌動等の充実に寄	与する	
理由 事中評価	事	業主体の妥当性	5 #	!に同種・類似サー	- ビフ た担併 ア	、ス主体 / 宮足不	(BB) #21	
7		******		1に同種・類似サー				_
3				の公共団体では民				5
3			2 本	市で民間団体等が	同種サービスを	是供しているが、	質量共に劣る	$\mathbf{\mathcal{O}}$
-m -			1 本	市で民間団体等が	同種サービスを	是供しており、質	量共に勝る	
理由 事中評価	事	業の対象者	5 値	[接の対象は、すべ	ての古民又け団	オでおろ		
- 1 H 1 IIII		N		接の対象は、特定			民又は団体	
4			3 直	[接の対象は、特定	:属性の特定多数(の市民又は団体で	ある	2
7			2 直	[接の対象は、特定	[属性の一部の市]	民又は団体である		_
			1 直	[接の対象は、自ら	希望する一部の	市民又は団体であ	る	
理由 事中評価	+	R - プの押担	1 - 1-	alk to the contract of		+		
争中評価	"	民ニ―ズの把握		<u>業規模や方法は、</u> 業規模や方法は、				_
_				業規模や方法は、				1
5				業規模や方法は、				4
				業規模や方法は、				
理由								
【1次評価結果】 事業の方向性	III	状維持		予算の方面	台村			
事業の方向性	375	1人不正行		7昇の刀	P)111			
1 次コメント								
(400文字)								
(40021)								
【2次評価結果】								
事業の方向性	現	状維持		予算の方向	句件			
L-NO-5531-31-T	3.			11 37 477)		I		
0.747 - 1.1								
2 次コメント (400文字)								
(マリリヘナ/								

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2 次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 短縮番号 02059 パブリックビューイング事業

【分析】

【基本情報】 計画次数 第二次総合振興計画/後期基本計画 政策 001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち 政策達成課題 001 スポーツによるまちづくりを推進する 001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する 施等 施策達成課題 001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する 016 パブリックビューイング事業 基本事務事業 詳細事務事業 001 パブリックビューイング事業 事業期間 新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 ソフト事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 【課題】 物価や人件費の高騰による委託費用の高騰。

課題・分析 来場者アンケートの結果から、好評であることが分析できる。ホストゲーム観戦の動機付けに繋げるためにも、 継続的に実施することで文化として根付かせたい。

 【事業分析】

 対象
 市民、ファン

 目的
 PVの実施により、より多くのラグビー試合観戦機会を設け、ラグビーを身近に感じることのできる環境を市民に接換することで、更なるラグビータウンの推進を図る。また、ラグビーワールドカップ2023フランス大会等において、本市ゆかりの選手出場試合のPVを実施し、市民が一体となって応援する風土づくりと地域の一体感の醸成を図ることを目的とする。

 手段
 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 14 536 12.800 9 200 事業費 11, 676 12,800 9, 200 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 地方債 0 0 0 その他 一般財源 11, 676 12,800 9, 200 人件費計 2, 860 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.30 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.25 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

 (関連予算情報)

 予算事業

 予算事業

 予算事業

事務事業評価シート2

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 平均来場者数 0.00 100.00 100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 110.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり

1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 PVを文化として根付かせるには一定期間の継続が必要 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (4 0 0 文字)			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2 次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業

「其本性報」

【基本情報】							
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī				
政策	001 スポーツ・観光	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち					
政策達成課題	001 スポーツによる	まちづくりを推進す	- る				
施策	002 スポーツ環境の	充実を図る					
施策達成課題	001 スポーツ環境の	充実を図る					
基本事務事業	005 荒川公園周辺再	整備事業					
詳細事務事業	001 荒川公園周辺再	整備事業					
事業期間	令和 3年度 ~ 令和12年度	10 年間					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等	熊谷市個別施設計画						
課題・分析	【課題】 ①新耐震基準 (\$56年)に不適合。②「第一種住居地域」であることから、建て替え(更新)の場合、現在と同等の延べ床面積を維持できない。③アリーナ照明が「水銀灯」であるが、故障時に「水銀に関する水俣条約」により調達が困難であり、LED化が求められている。④日本一暑い都市において、空調設備が未整備である。⑤総合振興計画に掲げる「スポーツによるまちづくり」を推進するうえで、時代の二一ズに対応していない。 【分析】 既に「荒川公園周辺再整備検討会」を設置し、時代の二一ズや将来を見据えて検討を進めており、本市の更なる発展と次世代に繋げるための再整備を計画的に進めることが求められている。						
【事業分析】	•						

【事業分析】
対象 現市民体育館敷地及び荒川公園エリア

目的 次世代を見据えた求められる機能、施設計画の条件等を整理し、施設の基本的な計画内容をまとめるとともに、 民活手法による事業の実施可能性について評価を行う。

手段

その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 予算額 決算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 18, 110 186 45 201 30 872 事業費 19, 469 878 186 45, 291 国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 19, 469 878 186 45, 291 人件費計 11, 403 17, 232 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 1.50 2. 25 会計年度嘱託職員(人) 0.01 0.01 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

19279040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 事業拡大 予算の方向性 事業の方向性 基本計画策定に向けたワークショップやアンケート等を実施するほか、必要な調査を実施する。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 01723 スポーツコミッション事業

【基本情報】

計画次数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画						
政策	001 スポーツ・観光	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち					
政策達成課題	002 スポーツツーリ	ズムを推進する					
施策	001 熊谷スポーツコ	ミッションを推進す	- る				
施策達成課題	001 熊谷スポーツコ	ミッションを推進す	-る				
基本事務事業	008 スポーツコミッ	ション事業					
詳細事務事業	001 スポーツコミッ	ション事業					
事業期間	~						
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等					•		
大規模大会の運営を主管する県のスポーツ団体に対し積極的に誘致活動を行い、全国規模の大会を3大会、関東規模の大会を5大会、計8大会を誘致して支援することで、交流人口の拡大を図ることができた。 大会参加者、関係者に対してアンケート調査を実施し、市内や周辺観光の予定があるか確認したところ、全体の 課題・分析							
【事業分析】							
対象	関東大会以上のスポーツ大	会を主催する団体及	なび来訪者				
目的	大規模スポーツ大会の誘致	等に取組み、スポー	-ツを通じた交流人口の拡大	を図るとともに、	観光事業とも密接に		

連携し地域経済の活性化を目指す。 市、熊谷商工会議所、(一社)熊谷市観光協会、(公財)熊谷市スポーツ協会及び事業に密接に関連する事業者 手段 との連携 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 27, 371 16, 349 6, 589 6, 981 事業費 4, 586 5, 803 6, 589 6, 981 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 0 地方债 0 その他 一般財源 4, 586 5, 803 6,589 6, 981 人件費計 22, 785 10, 546 一般職員(人) 3.00 1. 37 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.01 0.03 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算事業番号 予算所属名称 予算事業

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 短縮番号 01723 スポーツコミッション事業 【定量評価】 単位

上段:目標値 下段:実績値 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 関東大会以上の大規模 8.00 8.00 8.00 0.00 0.00 0.00 0.00 11 00 8 00 0.00 0.00 0 00 0.00 0.00

+	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価		事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	4
1			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	Z L
'			2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
事中評価		事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	\circ
2			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	Ξ⊀
-			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	O
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
事中評価		事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	$\mathbf{\circ}$
3			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	- ≺
1			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
事中評価		事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	4
4			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	•
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
事中評価		市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	\mathbf{O}
5			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している	
			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	O
<u> </u>			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】 予算の方向性 事業の方向性 熊谷スポーツコミッションを周知するため、啓発用グッズを作成し、関係団体を訪問して、大規模スポーツ大会 の誘致を図るほか、誘致した大会を観光協会等と連携して支援していく。 1次コメント (400文字)

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (4 0 0 文字)			

IP27P040

IP27P041

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画				
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	002 スポーツツーリ	ズムを推進する			
施策	002 スポーツと観光	の融合によるスポー	-ツツーリズムを推進する		
施策達成課題	001 スポーツと観光	の融合によるスポー	-ツツーリズムを推進する		
基本事務事業	002 ラグビータウン	熊谷推進事業			
詳細事務事業	001 ラグビータウン	熊谷推進事業			
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	している項目がある。 分析	小中学生がラグビー	Sいて、補助金を出している - を知る良い機会となってお 負担となっている。		

【事業分析】 対象 市民 目的 熊谷ラグビー場を活用し本市の振興と活性化を図るとともに、ラグビータウン熊谷を全国に発信する。 手段 大会、イベントを契機に。 ①全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会への支援と規模拡大の働きかけ ②集客力のある公式戦(日本代 表戦を含む)、定期戦の誘致 ③7人制ラグビーの普及と大会の開催 ④ホームページでの熊谷ラグビー情報の その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 32, 604 トータルコスト 31.484 20.040 19.662 事業費 8, 645 8, 525 20, 040 19, 662 国庫支出金 県支出金 0 0 0 地方債 0 0 0 その他 一般財源 8, 645 8, 525 20,040 19, 662 人件費計 22, 839 24, 079 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 3.01 3.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.50 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-02-01-18-05-01-00-00 ラグビータウン熊谷推進事業 総合政策部スポーツタウン推進課 総合政策部ラグビータウン推進課 01-02-01-18-05-01-00-00 ラグビータウン熊谷推進事業

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

1070000 総合政策部スポーツタウン推進課 所属 短縮番号 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 18, 850, 00 18, 850, 00 18,850,00 0.00 0.00 0.00 一大会の観客数 10 420 00 12 300 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 スポレク・タグラグビ 0.00 0.00 0.00 0.00 50.00 60 00 70.00 -大会の参加チーム数チーム 72 00 70.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 公式戦ポスターの応募 600.00 700 00 0.00 0.00 0.00 550 00 0.00 472.00 795.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 スポーツによるまちづくりの中核スポーツ 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである

4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する スポーツによるまちづくりの中核スポーツ 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 5 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る まちづくりの中核をなすため、市で行う必要あり 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由 事中評価 スポーツによるまちづくりの中核スポーツ 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由

【1次評価結果】 事業の方向性 現状維持 予算の方向性 1 次コメント (400文字)

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (4 0 0 文字)			

 評価年度
 令和 5年度
 進捗区分
 2次評価

 所属
 3510000
 産業振興部商業観光課

 短縮番号
 00005
 スカイスポーツフェスタ事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	002 スポーツツーリ	ズムを推進する			
施策	002 スポーツと観光	の融合によるスポー	ツツーリズムを推進する		
施策達成課題	001 スポーツと観光	の融合によるスポー	ツツーリズムを推進する		
基本事務事業	001 スカイスポーツ	フェスタ事業			
詳細事務事業	001 スカイスポーツ	フェスタ事業			
事業期間	平成25年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付	要綱			
課題・分析					

 【事業分析】
 対象
 市民及び観光客
 目的
 昭和38年に開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場を 舞台に、埼玉スカイスポーツフェスタを開催し、グライダー、気球などの体験搭乗会等を実施し、空のスポーツ としてのグライダーの魅力をアピールする。
 手段
 (一社) 熊谷市観光協会に補助金を交付し、イベント開催を支援する。 メディアに対する積極的な情報発信を行う。

【コスト】 (単位:千円) 令和10年度 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 308 596 1 540 1 540 事業費 212 367 1,540 1, 540 国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 0 0 0 0 地方债 その他 一般財源 212 367 1,540 1, 540 人件費計 96 229 一般職員(人) 0.01 0.03 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.01 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

 予算事業
 予算事業
 予算事業
 予算所属名称

 01-07-01-03-40-01-00-00
 スカイスポーツフェスタ事業
 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

 評価年度
 令和 5年度
 進捗区分
 2次評価

 所属
 3510000
 産業振興部商業観光課

 短縮番号
 00005
 スカイスポーツフェスタ事業

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 開催回数 1.00 0.00 0.00 1.00 0.00 0.00 0 00 0 00 0.00 0.00 0 00 0.00 0.00 参加者数 6, 000, 00 6,000,00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

【定性評価】 カテゴリ	評価の観点	基 準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	, , ,
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	-
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	/ I
1		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	_
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	_
2		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
4		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
3		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
"		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	\neg
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
4		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	5
7		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大の二一ズにより見直してる	
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	$\mathbf{\circ}$
5		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している	⋾⋜
<u> </u>		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	\mathbf{O}
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			
【1次評価結果】			

 「1次評価結果」

 事業の方向性

 現状維持

 1次コメント (400文字)

【4.公时间加木】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 短縮番号 01577 グライダー推進事業

A型相画 つ 010// フラコ	人 正是于未				
【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	04 第二次総合振興計画/後期基本計画			
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	002 スポーツツーリ	ズムを推進する			
施策	002 スポーツと観光	の融合によるスポー	ツツーリズムを推進する		
施策達成課題	001 スポーツと観光	の融合によるスポー	ツツーリズムを推進する		
基本事務事業	003 グライダー推進	事業			
詳細事務事業	001 グライダー推進	事業			
事業期間	平成29年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
	市有グライダーによる市民	対象の体験搭乗会を	2回開催。グライダーの魅	カをアピールすると	ともに、市有グラ
	イダーの維持管理を行う。				
課題•分析					
MACAGE 23 (/)					
	1				

【事業分析】 対象 市民及び観光客 目的 昭和38年開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場で 、市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を開催し、グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グラ 、ハロ・・・ イダーの維持管理を行う。 手段 「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」等との連携を図る。 その他 「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」の支援を行うとともに、市有グライダーの維 持管理を図る。

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 2, 350 2, 393 トータルコスト 1, 798 2, 066 事業費 1, 440 1, 399 1, 798 2, 066 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 237 その他 218 一般財源 1, 203 1, 399 1, 798 1, 848 人件費計 910 994 一般職員(人) 0.12 0.13 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-07-01-03-46-01-00-00 グライダー推進事業 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 3510000 産業振興部商業観光課 短縮番号 01577 グライダー推進事業 単位 2.00 1 00

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 グライダー搭乗会 0.00 0.00 2.00 2.00 0.00 2 00 0.00 0.00 0 00 0.00 0.00 グライダー搭乗者 30 00 30.00 30.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 15 00 26.00 0.00 0.00 0.00 0.00

大定性評価』 カテゴリ	評価の観点	基準	= > . 6
			ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	1
1		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	4
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	4
2		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
-		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
3		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	^
3		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	$\mathbf{\mathcal{O}}$
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	_
,		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	^
4		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	J
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由		1 国後の対象は、自う事主がも 静の事及人は国界である	
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
7 1 11 11111111	1720— 八砂尼陸	4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	_
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	$\boldsymbol{\gamma}$
5		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	J
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	_
理由			
[]理由			

【1次評価結果】 予算の方向性 現状維持 事業の方向性 曳航費増による増額。 グライダータイヤ交換修理による増額 除草費用の増額 1次コメント (400文字)

事業の方向性	現状維持	予算の方向性		
2 次コメント (4 0 0 文字)				

「つか証無針甲】

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 1010000 総合政策部企画課

短縮番号 01555 ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

【叁 个 " [] []					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	003 観光を推進する				
施策	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
施策達成課題	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
基本事務事業	018 ふるさと熊谷応	援寄附金推進事業			
詳細事務事業	001 ふるさと熊谷応	援寄附金推進事業			
事業期間	平成28年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	地方税法第37条の2、第314	条の7、所得税法第	78条		
課題・分析	多くの自治体が不制度を利用する中、 審開を受け入れるには、引き続き返礼品の開発に加え、広報力、共感を得られる審開の使途の設定などが必要となっている。 しかし、H29年4月に総務省が全国の自治体に対して、返礼品は3割以下とすること、高価な返礼品を取りやめることなどを求めて以降、ふるさと納税制度が厳格化している。R5年度には、返礼品基準が厳格となり、25の返礼品が取り下げとなった。今後もさらなる制度変更が見込まれるため、寄附額を伸ばす手法を探りつつ対応をしていく必要がある。				

「事業公析」

【争未分析】	P来方钉】				
対象	1回1万円以上の寄附を行った、市外在住の個人				
目的	ふるさと納税を通じて、地域振興と本市の魅力を全国に P R する。また、寄附による新たな財源確保を図る。				
手段	①ふるさとチョイス、楽天 ②返礼品の開発、選定、生産者との調整、広報及び発送委託 (一般社団法人熊谷市観光協会に委託)				
その他	寄開件数·金額 [H28] 1, 202件: 2934万7088円、 [H29] 731件: 1726万1000円 [H30] 760件: 2549万3000円、 [R1] 859件: 2350万337円、 [R2] 912件: 4332万1, 340円 [R3] 1, 352件 4222万4314円 [R4] 1, 304件 531 4万円 [R5] 1, 022件 5130万5000円				

【コスト】

(単位:千円)
 令和 4年度
 令和 5年度
 令和 6年度
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度
 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 25, 623 トータルコスト 20, 452 30, 720 30, 998 事業費 18, 783 21, 416 30, 720 30, 998 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 地方債 0 その他 21, 416 30, 720 一般財源 18, 783 30, 998 人件費計 1,669 4, 207 一般職員(人) 0.22 0. 55 0.92 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0 その他経費 0 0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-64-01-00-00	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業	総合政策部企画課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 1010000 総合政策部企画課

	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
FBf	付金額	千円	28, 000. 00 53, 140. 00	41, 500.00 51, 305.00	70, 000.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 0.
_			30, 140. 00	01, 000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	<u> </u>
Ţ	2性評価】				•				
_	カテゴ! 事中評価		評価の観点 業の優先度	- 100		基準			ランク
	学中評価	49-1	果の懐先度		の事務事業に優先 後しばらくの間、				_
					<u> ちらかといえば、</u>				Λ
1					的をある程度達成			討の余地あり	4
				1 事	業開始時と比較し	実施意義が大きく	低下、又は、目	的が達成した	
	理由								
	事中評価	事	業の必要性		民又は団体の生命				
					全 安心 健康な				2
2					全・安心・健康な かな市民生活の形			ヒ人じめる	J
					民生活の余暇・レ			与する	
	理由			1 1 103	以上/100/小城 レ	772 7371	1到すり九天に 日	7,0 1	
	事中評価	事	業主体の妥当性	5 他	に同種・類似サー	-ビスを提供してに	\る主体(官民不	問)なし	
					に同種・類似サー				1
3					の公共団体では民				4
					市で民間団体等が				•
	TD -1-			1 本	市で民間団体等が	同種サービスを扱	提供しており、質	量共に勝る	
	理由 事中評価	東	業の対象者	5 値	接の対象は、すべ	アの主足立は田に	t-rate Z		
		J.	******		接の対象は、特定			民又は団体	_
4					接の対象は、特定				/1
4					接の対象は、特定				_
				1 直	接の対象は、自ら	希望する一部の市	5民又は団体であ	る	
	理由			1 - 1-					
	事中評価	η.	民ニーズの把握		業規模や方法は、				_
				. 7	業規模や方法は、 業規模や方法は、				2
5					業規模や方法は、				J
					業規模や方法は、				
	理由								
_	1 次評価結果】								
# 3	業の方向性		 大維持	(1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算の方向				IM 1 -
			和6年度にふるさと ることで手数料等/			し、寄附額の増加	を図る。これに作	半い、寄附件数が	増加
		9 -	ることで于奴科寺!	- 安り る程質も増	で見たい。				
1.2	欠コメント								
(4	400文字)								
T 6	> \ 								
	2 次評価結果】	Test of	大維持		予算の方面	かけ			
13	業の方向性	規	IA 莊 持		予昇の万[可注			
2 7	欠コメント								
		1							
(4	400文字)	I							

短縮番号 00014 観光振興事業

【基本情報】								
計画次数	04 第二次	2総合振興計画/後期基本計	-画					
政策	001 スポー	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち						
政策達成課題	003 観光を	推進する						
施策	001 おもて	なし・受け入れ態勢を整備	情・充実させる					
施策達成課題	001 おもて	なし・受け入れ態勢を整備	・充実させる					
基本事務事業	022 観光振	興事業						
詳細事務事業	001 観光振	興事業						
事業期間	~							
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常			
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業			
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費					
根拠法令等								
課題·分析	加盟している協議	会等との連携を図る必要が	ి కురె					
[車業公析]								

 【事業分析】

 対象
 市民及び観光客

 目的
 観光振興業務の円滑な推進を図り、熊谷への誘客を目指す。

 手段
 埼玉県物産観光協会等の主催する観光キャンペーンへの参加

 その他
 その他

【コスト】 (単位:千円)
 令和 4年度
 令和 5年度
 令和 6年度
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度
 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 5, 445 19, 694 トータルコスト 4, 648 4, 016 事業費 3, 434 3, 457 4, 016 19, 694 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 地方债 0 その他 一般財源 3, 434 3, 457 4, 016 19, 694 人件費計 1, 214 1, 988 一般職員(人) 0.16 0. 26 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

 予算事業
 予算事業
 予算事業

 01-07-01-03-02-01-00-00
 観光振興事業
 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

[5	定量評価】 指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	上段:目標値	下段:実績(令和10年度
熊名	谷市観光入込客数		4, 398, 000, 00	4, 548, 000, 0		0.00	0.00	0.00	0.00
		٨	1, 829, 472. 00	3, 411, 560.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
V	i-Fiアクセス数	件	168, 000. 00 114, 223. 00	168, 000. 0 76, 618. 0		0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
٧	i一Fi利用者数	,	100, 000. 00	100, 000.0		0.00	0.00	0.00	0.00
_			49, 170. 00	45, 334. 0		0.00	0.00	0.00	0. 00
			0. 00 0. 00	0.0		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00	0. 00 0. 00
[5	定性評価】		0.00	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
	事中評価		事業の優先度		他の事務事業に優先				
					<u>今後しばらくの間、</u> どちらかといえば、				1
1					目的をある程度達成			討の金地あり	4
					事業開始時と比較し				
	理由								
	事中評価		事業の必要性		市民又は団体の生命				
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである						9	
2					女王 女心 健康で 豊かな市民生活の形			.EV (202	_
					市民生活の余暇・し			与する	
	理由								
	事中評価		事業主体の妥当性		他に同種・類似サー				
					他に同種・類似サー				\mathbf{O}
3					他の公共団体では日 本市で民間団体等か				5
					本市で民間団体等が 本市で民間団体等が				•
	理由				THE CECIPIES IT TO	HIEZ CXC	ENCO C 155 7 C 92	<u> </u>	
_	事中評価		事業の対象者	5	直接の対象は、すべ	ての市民又は団化	本である		
					直接の対象は、特定				_
4					直接の対象は、特定				5
					直接の対象は、特定				O
	理由			1	直接の対象は、自ら	希望する一部の	市民又は団体であ	6	
_	事中評価		市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、	対象者等の大幅	ホ大のニーズによ	り見直してる	
					事業規模や方法は、				Л
5					事業規模や方法は、				4
-					事業規模や方法は、				
	700 -4-			1	事業規模や方法は、	過去を踏襲してる	おり、特に見直し	ていない	
<u>r</u> .	<u>理由</u> 1 次評価結果】		l						
_	業の方向性		現状維持		予算の方	向性			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (4 0 0 文字)			

IP27P040

IP27P041

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 3510000 産業振興部商業観光課 短縮番号 00016 星川環境整備事業

【							
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī				
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち				
政策達成課題	003 観光を推進する						
施策	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる				
施策達成課題	001 おもてなし・受	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる					
基本事務事業	024 星川環境整備事	024 星川環境整備事業					
詳細事務事業	001 星川環境整備事	001 星川環境整備事業					
事業期間	平成21年度 ~						
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務				
根拠法令等							
課題・分析		修が必要となってい	・商店街と行政が一体とないることから、来街者を迎え. うしていく。 うしていく。				
[古娄八七]							

対象 星川及び星川通り 熊谷市の中心街の中核的観光施設である星川シンボルロードの維持管理、環境整備を行う 目的 手段 地域団体への働きかけ等を通じて、星川の適切な維持管理を図る その他

【コスト】 (単位:千円)
 令和 4年度
 令和 5年度
 令和 6年度
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度
 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 3, 550 トータルコスト 2, 365 967 1, 305 事業費 468 567 967 1, 305 国庫支出金 0 0 0 県支出金 0 0 0 地方債 0 その他 一般財源 468 567 967 1, 305 人件費計 1,897 2, 983 一般職員(人) 0.25 0.39 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-07-01-02-51-01-00-00 星川環境整備事業 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

	属 3510000 縮番号 00016 E量評価】 指標名	1	を計問業観光課 を推事業 令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	上段:目標個	■ 下段:実績信 令和10年度
作為	美日数	В	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00
		<u> </u>	76. 00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
\vdash			0,00	0.00	0.00	0.00	0,00	0.00	0,00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
L Fs	12性評価】		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ľ	カテゴ!	J	評価の観点			基準			ランク
	事中評価	事	業の優先度		の事務事業に優先				
					<u>後しばらくの間、</u> ちらかといえば、				1
1					的をある程度達成			討の余地あり	4
					業開始時と比較し				
	理由 事中評価	-	業の必要性	1 - L		nia la la ria			
	争中計画	7	未の必要性		民又は団体の生命 全・安心・健康な				_
2					全 安心 健康な				2
4					かな市民生活の形				_
				1 市	民生活の余暇・レ	・クリエーション	舌動等の充実に寄	与する	
H	理由 事中評価		業主体の妥当性	5 他	1- 同様 - 軽小井	ビフを担併してい	、	199 to 1	
	- T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7	- 末工作の女当は		<u>に同種・類似サー</u> に同種・類似サー				-
3					の公共団体では民				<u> </u>
ľ					市で民間団体等が				_
	理由			1 本	市で民間団体等が	「同種サービスを	是供しており、質	量共に勝る	
Н	事中評価	事	業の対象者	5 直	接の対象は、すべ	ての市民又は団	本である		
					接の対象は、特定			民又は団体	Л
4					接の対象は、特定				4
					接の対象は、特定 接の対象は、自ら				•
	理由				按の対象は、日の	御里りる 即の	10人は四年 (の)	1 L	
	事中評価	市	民ニーズの把握	5 事	業規模や方法は、	対象者等の大幅	広大のニ ー ズによ	り見直してる	
					業規模や方法は、				2
5					業規模や方法は、 業規模や方法は、				J
					業規模や方法は、				_
L	理由			, ,					
$\overline{}$	1 次評価結果】	170	15 64 4+		2000	6- 1st.	-		
事:	業の方向性		状維持		予算の方向	可性			
	欠コメント 4 O O 文字)								
[2	2 次評価結果】								
$\overline{}$	業の方向性	現	状維持		予算の方向	句性			
	欠コメント 4 0 0 文字)								

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 短縮番号 01566 観光協会運営支援事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	003 観光を推進する				
施策	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
施策達成課題	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
基本事務事業	038 観光協会運営支	援事業			
詳細事務事業	001 観光協会運営支	援事業			
事業期間	平成29年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付	要綱			
課題・分析					

【事業分析】 対象 一般社団法人熊谷市観光協会 目的 本市観光事業の中心組織となる新観光協会の運営を支援し、観光客の誘致及び交流人口の増大を図る。 手段 一般社団法人熊谷市観光協会へ補助金の支出 その他

【コス	h]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		40, 852	39, 364	38, 590	38, 590	0	0	0
事	業費	33, 264	35, 310	38, 590	38, 590	0	0	C
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	C
	その他	0	0	0	0	0	0	C
	一般財源	33, 264	35, 310	38, 590	38, 590	0	0	C
	.件費計	7, 588	4, 054	0	0	0	0	C
	一般職員(人)	1.00	0. 53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	也経費	0	0	0	0	0	0	C
1 BB '=	文質柱和 【		·					

M 大陸 7 并								
予算事業	予算事業番号	予算所属名称						
01-07-01-03-44-01-00-00	観光協会運営支援事業	産業振興部商業観光課						
	•	•						

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 観光協会運営支援事業

所属 3510000 産業振興部商業観光課 短縮番号 01566 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 観光入込客数 4, 398, 000, 00 4, 548, 000, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1, 829, 472, 00 3, 411, 560.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 市民ニーズの把握 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント

IP27P040

IP27P041

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属

短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【基本情報】 計画次数 第二次総合振興計画/後期基本計画 001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち 政策 政策達成課題 003 観光を推進する おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 001 施等 施策達成課題 001 おもてなし、受け入れ態勢を整備・充実させる 039 基本事務事業 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業 詳細事務事業 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業 平成29年度 ~ 事業期間 新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経営 ソフト事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 能谷市観光協会補助金交付要綱

課題・分析

【事業分析】 対象 市民及び観光客 本市の観光振興を図るため 目的 手段 (一社) 熊谷市観光協会が支援する各種伝統行事等に対する運営の補助を行う。 その他

【コスト】

(単位:千円) 令和 4年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 54, 283 78 320 71 500 71 500 事業費 33, 416 65, 700 71, 500 71, 500 国庫支出金 県支出金 0 0 0 地方債 0 0 0 その他 71, 500 一般財源 33, 416 65, 700 71, 500 人件費計 20, 867 12, 620 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 2.75 1. 65 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業 予算事業番号 01-07-01-03-49-01-00-00 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

3510000 産業振興部商業観光課 所属

短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 観光入込客数 4, 398, 000, 00 4, 548, 000, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1, 829, 472. 00 3 411 560 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 【能谷市誕生20周年記念】 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 3510000 産業振興部商業観光課 短縮番号 00396 妻沼市街地活性化事業

	NAME OF TAXABLE PARTY.							
【基本情報】								
計画次数	04 第二次総合振り	科訓画/後期基本計	-画					
政策	001 スポーツ・観光	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち						
政策達成課題	003 観光を推進する	003 観光を推進する						
施策	001 おもてなし・3	そけ入れ態勢を整備	・充実させる					
施策達成課題	001 おもてなし・9	そけ入れ態勢を整備	・充実させる					
基本事務事業	048 妻沼市街地活性	048						
詳細事務事業	001 妻沼市街地活性	001 妻沼市街地活性化事業						
事業期間	平成25年度 ~	平成25年度 ~						
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常			
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業			
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務					
根拠法令等			•		•			
市営めぬま観光駐車場トイレ(坂田医院旧診療所・井田記念館)、聖天山トイレ(境内1ヵ所・駐車場1ヵ所) 、花埋み観光トイレ(日本学生航空連盟妻沼訓練所敷地内)の維持管理や坂田医院旧診療所等の環境整備を熊谷 市シルバー人材センターに業務を委託している。常に環境が整備された状況を維持するには職員が直営で行う場								
課題•分析	1							

【事業分析】 対象 市民団体、商店街及び観光客 歓喜院聖天堂、坂田医院旧診療所、井田記念館等各施設の有効活用を図るとともに、商店街をはじめ地域の活性 目的 化につなげる。 手段 くまがや市商工会と協力し、市営めぬま観光駐車場の有効利用を図る。。 地元商店街の活性化や市民ボランティアの活躍等、観光客受け入れ体制の充実を図りながら聖天山周辺及び妻沼 市街地におけるイベント等に対し、協力・協働する。 その他

【コスト】 (単位:千円)
 令和 4年度
 令和 5年度
 令和 6年度
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度
 令和10年度 決算額 計画額 計画額 計画額 5. 829 トータルコスト 5 820 6, 251 7, 419 事業費 5, 593 5, 600 6, 251 7, 419 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 0 0 地方债 37 37 その他 10 10 一般財源 5, 556 5, 590 6, 241 7, 382 人件費計 227 229 一般職員(人) 0.03 0.03 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-07-01-03-51-01-00-00 妻沼市街地活性化事業 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2 評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

【 元	量評価】	PK /±	A10 4/5 #	A10 F/F		A10.7/= #	A10 0/= #		下段:実績(
围州	指標名 :入込客数	単位	令和 4年度 4,398,000.00	令和 5年度 4,548,000		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度 0.00
		<u></u>	136, 000. 00	3, 411, 560		0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00
-									
[J	<u>*性評価】</u> カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
_	事中評価	*	業の優先度	5	他の事務事業に優先		更がある)))
		l'		4	今後しばらくの間、				_
1				3	どちらかといえば、				5
•				2	目的をある程度達成				
	TID ±			1	事業開始時と比較し	実施意義が大きく	《低下、又は、目	的が達成した	
	理由 事中評価	*	業の必要性	5	市民又は団体の生命	- 財产 - 佐刊の/	見時に不可なかせ	_ Ľ 7 % t Z	
		7	******	4	安全・安心・健康な				_
2				3	安全・安心・健康な				
_				2	豊かな市民生活の形	成に寄与するサ-	-ビスである		
				1	市民生活の余暇・レ	·クリエーション》	舌動等の充実に寄	与する	
	理由 事中評価	-	業主体の妥当性	5	(I) (= E TE	15-5-1-11-1		00 4-1	
	争中計画	7	未工体の女ヨほ	4	他に同種・類似サー 他に同種・類似サー				_
3				3	他の公共団体では民				/
J				2	本市で民間団体等が				—
				1	本市で民間団体等が	《同種サービスを排	是供しており、質	量共に勝る	
	理由		- Alle 1 64 ale		T				
	事中評価	事	業の対象者	5 4	直接の対象は、すべ			B.D.(+图/+	
				3	直接の対象は、特定直接の対象は、特定				ᄃ
4				2	直接の対象は、特定				J
				1	直接の対象は、自ら				
	理由								
	事中評価	#	ī民ニ―ズの把握	5	事業規模や方法は、				
				3	事業規模や方法は、				1
5				2	事業規模や方法は、 事業規模や方法は、				4
				1	事業規模や方法は、				
	理由				,				
	次評価結果】	-			I				
事	美の方向性		状維持	W > # F &	予算の方向	句性			
			井田記念館畳替えば		喟 璋に伴う交換費用の増	9			
					単に作り文及貨用の4 削散布・草刈作業用の				
12	ヤコメント								
(4	100文字)								
[2	次評価結果】	J							
	の方向性	現	! 状維持		予算の方向	向性			
2 7	ヤコメント								
	ペコメント 100文字)								
, -									

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 能谷グルメイベント実施事業 短縮番号 02049

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画				
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003 観光を推進する				
施策	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
施策達成課題	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
基本事務事業	057 熊谷グルメイベント実施事業				
詳細事務事業	001 熊谷グルメイベ	ント実施事業			
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要網				
課題・分析	課題 ・プレスリリースだけでなく、広報に工夫が必要であった。 分析 ・マスメディアの番組ごとに情報発信すれば、より効果的に広報できたと考える。				

【事業分析】 対象 市民及び観光客 本市のグルメのPRと商業振興 目的 手段 イベントの開催支援及びホームページやチラシ作成・配付 その他

【コス	F]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	7ルコスト	5, 731	6, 988	4, 750	4, 750	0	0	0
事	業費	5, 200	5, 000	4, 750	4, 750	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5, 200	5, 000	4, 750	4, 750	0	0	0
人	.件費計	531	1, 988	0	0	0	0	0
	一般職員(人)	0.07	0. 26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	也経費	0	0	0	0	0	0	0
「日日: 由	予管標報 】							

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-28-01-00-00	熊谷グルメイベント実施事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 能谷グルメイベント実施事業

短縮番号 02049 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 入場者 参加者数 2, 000, 00 2.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 2,000.00 3 000 00 0.00 0 00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 市民ニーズの把握 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 予算の方向性 現状維持 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 短縮番号 02053 戦略的人流データ活用事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画				
政策	001 スポーツ・観光	を通じて魅力を発信	するまち		
政策達成課題	003 観光を推進する				
施策	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
施策達成課題	001 おもてなし・受	け入れ態勢を整備・	充実させる		
基本事務事業	058 戦略的人流デー	タ活用事業			
詳細事務事業	001 戦略的人流デー	タ活用事業			
事業期間	令和 5年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
	これまではイベントにおける効果検証が不十分であった。携帯電話の位置情報や属性データ等を分析することにより、EBPM (証拠に基づく施策立案)の推進に資することができる。				
課題▪分析					

【事業分析】 対象 市民、来街者 目的 まちなかを居心地が良く、快適な環境にするための施策を検討する際の基礎資料とする。 携帯電話の位置情報等のデータを取得し、分析する。 手段 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 2 506 15. 777 15, 777 事業費 2, 277 15, 777 15, 777 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 15, 777 一般財源 2, 277 15, 777 人件費計 229 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.03 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-07-01-03-62-01-00-00 戦略的人流データ活用事業 産業振興部商業観光課

進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属

評価年度 令和 5年度 短縮番号 02053 戦略的人流データ活用事業

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 観光入込客数 4, 548, 000, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 3 411 560 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 事業の方向性 予算の方向性 R7年度都市空間情報デジタル基盤構築支援事業の要望として、都市計画課の方でLOD2整備に予算多くを割り振る ため、全体として予算の縮減が必要となった結果、今年度は本事業において国庫補助を要求しないこととなり、 商業観光の方から裏負担分を予算要求はしないこととなったため。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性

事務事業評価シート2

2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属 短縮番号 02074 観光PR階段アート事業

計画次数 04 第二次総合振興計画	-1t det
政策達成課題 003 観光を推進する 施策 001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 施策達成課題 001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 基本事務事業 061 観光 P R階段アート事業 詳細事務事業 001 観光 P R階段アート事業 事業期間 ~	計画次数
施策 001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 施策達成課題 001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 基本事務事業 061 観光 P R 階段アート事業 詳細事務事業 001 観光 P R 階段アート事業 事業期間 ~ 観光 P R 階段アート事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 担独 バードソフト ソフト事業 根拠法令等 無	政策
施策達成課題 001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる 基本事務事業 061 観光 P R 階段アート事業 詳細事務事業 001 観光 P R 階段アート事業 事業期間 ~	政策達成課題
基本事務事業 061 観光 P R階段アート事業 非無期間 ~ 事業期間 ~ 新規総務区分 経費 経常臨時区分 経常事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	施策
詳細事務事業 001 観光 P R 階段アート事業 事業期間 ~ 新規継続区分 経統 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	施策達成課題
事業期間 ~ 新規継続区分 越続 経費 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	基本事務事業
新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	詳細事務事業
新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	
事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 振 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	事業期間
企画課使用欄 事業の分類	新規継続区分
根拠法令等 無 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	事業主体
「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	企画課使用欄
「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。	
	根拠法令等
令和5年度から同事業を実施しないとの事から、階段を利用しスポーツを観光資源ととらえ、観光情報の発信とともに、スポーツの情報発信することで、再来訪のきっかけに寄与すると思われる。 課題・分析	

対象 市民・市外の方 目的 市民の方へスポーツ情報を発信し、スポーツによるまちづくりを推進するとともに、スポーツイベント等で本市 を訪れた方に観光イベント情報等をPRし、スポーツ以外の本市の魅力をPRすることを目的とする。 手段 情報発信 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 予算額 決算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 1 427 1 400 1 400 事業費 1, 198 1, 400 1, 400 国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 1, 198 1,400 1, 400 人件費計 229 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.03 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-15-01-00-00	観光PR階段アート事業	産業振興部商業観光課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 產業振興部商業観光課 観光PR階段アート事業

所属 短縮番号 02074 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 観光入込客数 4, 548, 000, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 3 411 560 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 【能谷市誕生20周年記念】 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)